

那覇国際高等学校

学校だより 第20号



郷土芸能でハワイへ派遣!



比嘉一朴さん
(1年9組)

ハワイでの2週間はまさに夢のような体験でした。新しい文化に触れ、色々な人たちとの交流が豊かな学びとなりました。伝統芸能は、文化を共有し、尊重することの重要性を教えてくださいました。舞台体験も豊かなものでした。舞台でのパフォーマンスは心に残るものでした。伝統芸能を通して、沖縄の人々の誇りと繋がりを深く理解しました。7公演を通して多くの人と交流ができました。県人会の方々がとても喜んでくれました！これからも異なる文化や価値観に敏感で、柔軟性を持ちながら、世界とつながり、貢献できる人材になることが目指すべき方向です。ハワイでの滞在は私にとっての人生の一節となり、これからの未来へのステップになりました。これらの琉球の伝統芸能は、異なる島々が抱える独自性を感じさせ、文化の多様性がいかに豊かで重要か気づかされました。これからは、琉球の舞踊や三線を通じて、地域社会や世界とのつながりを深め、文化の交流に貢献していきたいと思ひます。



写真右
東西センター(ハワイ大学)
にて演舞を披露する
高校生ら



県教育庁の「高校生伝統芸能分野海外就業体験事業」にて、県内の高校生16名が1月21日から2月3日までの2週間、ハワイへ派遣されました。本校からは1年9組の比嘉一朴さんが参加しました。一行はハワイにて、小学校・高校・ハワイ大学訪問、東西センター・ポリネシア文化センター訪問、県人会との交流、ホームステイ体験等を通して、ハワイの歴史や観光業を学ぶとともに、沖縄の伝統芸能を伝える貴重な体験をすることができました。

県外大学にて発表会!



写真上
東京学芸
大学正門
前にてポ
ーズをと
る生徒ら

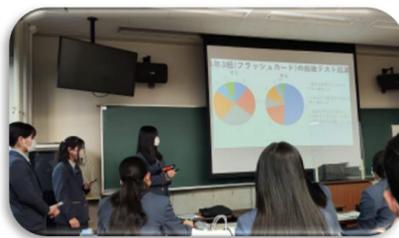


写真上
国際基督教大学(ICU)にて

「総合的な探究の時間」で選抜された本校の代表生徒10名が1月17日から19日までの3日間、筑波大学・東京学芸大学・国際基督教大学それぞれにて、「探究活動の学習成果」を発表しました。大学の先生及び学生との交流や学校見学等を通して、進路意識の向上を図ることができました。参加した生徒は、「発表に対して的確なアドバイスを頂いたり、その大学について様々なことを教えて頂いたり、とても有意義な時間にする事ができました。」「研究とは何かについて改めて考えさせられる研修でした。私たちの研究は実際に使えるかどうかの実証が足りないことに気づきました」等、さまざまな気づきが得られる研修となりました。



写真左
筑波大学
にて説明
を受ける
生徒ら



写真右
東京学芸
大学にて
発表する
生徒ら

県高校新人駅伝大会 男子 3位!

「第31回県高校新人駅伝競走大会」が2月4日、西崎運動公園陸上競技場にて実施され、本校男子チームが総合3位になりました。また、第2区で幸地弘樹さん(2-8)が2位、第5区で橋本海聖さん(2-8)が3位にそれぞれ入賞しました。

写真右
第2区 2位
幸地弘樹さん

第5区 3位
橋本海聖さん



写真上 総合3位になった本校男子チーム

SGH研究指定校 最終発表会



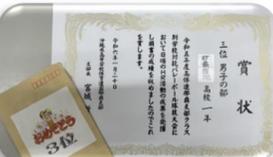
写真上 研究成果等を報告する島袋尚樹先生

研修主題を「次世代を担うグローバルリーダーとしての資質・能力の育成を目指した探究的な学びの実践」と題して、令和3年度から本年度までの3ヶ年間、県教育委員会の研究指定校を受けた本校は1月29日、最終年度の発表会を行いました。

那覇支部 クラス別学校対抗 球技大会 3位!



大会で3位になった1年1組の皆さん



1月20日、高体連主催「那覇支部クラス別学校対抗 男子球技大会(バレーボール)」が実施され、本校代表の1年1組男子チームが見事、那覇支部で3位になりました。1年1組の皆さん、おめでとうございます。

ヴォーカル・アンサンブル 金賞!



1月18日に「うるま市民芸術劇場」にて実施された「第17回ヴォーカル・アンサンブル・コンテスト」において、本校合唱部が見事、金賞を受賞しました。おめでとうございます。



今後の行事予定

- 2月
 - 7日(水) 県立高校一般入学願書受付①
 - 8日(木) 県立高校一般入学願書受付②
 - 9日(金) 学年末考査①(1・2年生)
 - 金融セミナー(3年生)
 - 12日(月) 建国記念の日(振替休日)
 - 13日(火) 学年末考査②(1・2年生)
 - 14日(水) 学年末考査③(1・2年生)
 - 15日(木) 1年難関大学講座(放課後)
 - 16日(金) 2年難関大学講座(放課後)
 - 23日(金) 天皇誕生日(公休日)
 - 29日(木) 卒業式予行演習
- 3月
 - 1日(金) 第24回卒業式



合格体験記 15 (早稲田大学 文学部)



(1)この大学(学科)を選んだ理由

私の主な志望理由は就職率の高さです。キャリア形成・就職活動支援を1年次から行い、様々なプログラムやイベント、個別相談など就職支援制度が整っているのが4年かけてじっくりと自分のやりたいことを見つけていることができると考えました。そして私が興味のある教育分野に就いている人が多く、OB・OGが多いため、企業でのOB・OG訪問が行いやすく、様々な貴重な話を伺う事ができるので、社会に貢献し、自分が輝ける仕事を自分で選ぶことができると思い、志望しました。

(2)高校在学中の勉強方法について

朝は早く起きて学校に行き、授業が始まる前にも勉強をしていました。土日でも平日と同じ時間に起きて規則正しい生活を心がけていました。1年次から毎日勉強を続け、予習復習をしっかり行い、小テストなどでも手を抜いたことはありません。

(3)高校在学中の勉強以外の生活について

私はボランティア部に所属していました。ただ提供される情報をもとにボランティアに参加するのではなく、自分でやりたいことを見つけて積極的に行動しました。また、行事や友達と遊ぶことも全力で楽しみました。

(4)先輩へのアドバイス

今はなんのために勉強するのか分からないこともあると思いますが勉強を普段から続けることで、将来、自分の選択肢を広げることができます。私自身、初めからこの大学を考えてはおらず、先生に言われて初めてこの選択肢があると気づきました。私の成績が良くなければこういって声がかかる事があったとは思えません。勉強をしないで後悔することはほとんどないと思います。3年生になった時にも勉強する習慣がついている人とそうでない人では差があるので、今のうちから勉強を習慣づけることが大切だと思います。遊びや部活を楽しむことも大切です。

本校24期生(現3年生) 女性

名言・名句

Keep your face
to the sunshine
and you cannot see
the shadow.

顔をいつも
太陽の方に向けていて。
影なんて
見ていることはないわ。

【解説】

これは生後19ヶ月のとき、高熱に伴う髄膜炎に罹患し、聴覚と視力を失い、話すこともできなくなった米国のヘレン・ケラーの言葉である。

彼女は重複障害者でありながらも、「奇跡の人」と呼ばれ、世界各地を歴訪し、障害者の教育・福祉の発展に尽力しました。

